

8 町立キャンプ場のリニューアルで多様なアクティビティ創出 「Tree Picnic Adventure IKEDA」（福井県池田町）

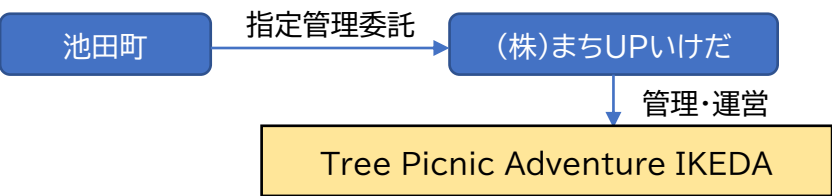
所在地：福井県今立郡池田町志津原28-16
実施者：（株）まちUPいけだ
連絡先：（TEL）0778-44-7474
 (mail) info@picnic.ikeda-kibou.com
URL： <http://www.picnic.ikeda-kibou.com/>

- 町立キャンプ場をリニューアルし、広大な敷地の中にアスレチックやジップライン等の施設を整備。子どもから大人まですべての世代が好奇心や冒険心を育みながら、森林や自然に触れるきっかけとなる多様なプログラムを構築している。
- 子どもの発達段階に合わせて繰り返し訪れたくなるプログラムを整備することで、ファミリー層を中心にリピーターが増加。
- 町の「木望のまちプロジェクト」での様々な施策展開と合わせ、移住者増にもつながっている。

取組の経緯

- 池田町は高齢化率が県内で最も高いことなどからまちの存続に対する危機感が高まる。
- 2014年 森林資源を生かした地域循環型まちづくりプロジェクト「木望のまちプロジェクト」始動。
- 2015年 遊休状態の木工ギャラリー・販売所を改修し、木育の場「おもちゃハウス こどもと木」オープン。町の人口の約10倍以上が年間に来訪する人気施設となった。
- 2016年 遊休状態の木工場を改修し、親子で木工体験を楽しめる施設 Wood LABO Ikedaをオープン。
- 同年 町立キャンプ場をリニューアルし、メガジップライン、アドベンチャーパーク、アドベンチャーボートを中心に、コテージ・カフェ運営やガイドツアー等を実施する「Tree Picnic Adventure IKEDA」としてリニューアル・オープン

実施体制・役割分担



- ゼネラルマネージャーの下、フロント関連スタッフ(6名)、アクティビティ関連スタッフ(15名)が勤務。
- スタッフは、広報や営業、森林整備、イベント企画等の業務を兼任。マルチワーク化を進め、1人1人のスタッフが関連部門内の複数業務が可能な体制を取り、臨機応変に人員を調整している。

具体的なプログラム・メニュー

- 単にレジャーを楽しむだけではなく、「好奇心」を刺激し、森の中で「学ぶ」「遊ぶ」「結ぶ」をキーワードにした様々なプログラムを整備している。
- 厄介者の雪を生かした「ウインタージップライン」「スノーシュー」をはじめ、満月の夜に行う「ナイトジップライン」など、四季折々の自然を生かしたプログラムがある。

メガジップライン  ワイヤーを滑走	アドベンチャーパーク  子供の成長に合わせたコース設定	アドベンチャーボート  家族のみでチャレンジするラフティング	樹上テント  冒険心を育む樹上体験
食事提供 (カフェピクニック)  地元食材を使ったカフェ	冬季アクティビティ ウインタージップライン  雪中を楽しむジップライン	校外学習・企業研修 森のお仕事体験  池田町での仕事を体験	チームチャレンジ チームワークを高めるプログラム  チームワークを高めるプログラム

実績

- アクティビティ体験者：42,000人、企業・学校等の利用：13団体（2019年）
- 年間売上：1億3,000万円
- 新規雇用：30名(うち21名が正社員)

Ⅲ. 受入地域の事例（公民連携）

8 町立キャンプ場のリニューアルで多様なアクティビティ創出 Tree Picnic Adventure IKEDA（福井県池田町）

● 特徴1／子どもの発達段階に合わせたプログラム

- 身長100cm(4歳程度)から10cmごとの体験プログラムを用意し、子どもの成長に合わせて毎年新たなチャレンジができるプログラムを構築している。
- 子どもの発達段階に合わせて関係性を構築するプログラムにより、ファミリー層を中心にリピーターが増えている。

アドベンチャーボート



身長100cm～。スタッフが同乗せず家族のみでチャレンジする。家族のチームビルディングに効果あり。

キッズコース



身長110cm～。インストラクターが付いて子どもだけでチャレンジ。他の子と助け合って進む。

ツリークライム



身長120cm～のチャレンジコース

ディスカバリーコース



身長130cm～スリル満点のアドベンチャーを家族・友達と協力してクリア。木の上のハンモックやソファもある。

メガジップライン 身長140cm～は、目玉アクティビティであるメガジップラインにチャレンジできる

● 特徴2／既存施設を独自性の高い森林活用施設へ。

リニューアル前「旧志津原キャンプ場」



テントサイト、ログハウス、バーベキューハウスを備えた施設だったが、周辺施設と比べて特に特徴のあるキャンプ場とは言えず、利用者が低迷していた。

リニューアル後「Tree Picnic Adventure IKEDA」



- センターハウスを建て替え、敷地内の森林を整備し広大なアドベンチャー施設としてリニューアルした。キャビンや樹上テントは開業後に新設した。
- 「木望のまちプロジェクト」のなかで、森の再生と伐採した間伐材の利用による木活施設として、また、子どもたちが森や木々に触れあいながら遊び、学ぶことができる木育施設となっている。
- 岐阜県と池田町を結ぶ冠山トンネルの開通や北陸新幹線の開通を受け、さらなる増設が計画されている。

○ 木望のまちプロジェクトについて



「おもちゃハウスこどもと木」

2015年開業の木育施設。池田町産の遊具や木のおもちゃで遊びながら、子どもたちの豊かな感性と想像力を育む場として人気を集めている。

「Wood LABO ikeda」

ものづくりを通して暮らしと木をつなげる木工体験施設。池田の木を使った木工体験や、DIYなど子どもから大人までものづくりを楽しみながら交流できる場となっている。

その他

1歳児に木のおもちゃのプレゼント、新1年生に木の机と椅子のプレゼント等の事業を行っている。



【木望のまちプロジェクト開始前後の移住者数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
人数	10	1	5	4	11	13	25	17	20	18
世帯数	3	1	5	1	6	8	14	12	11	13

木望のまちプロジェクト開始後